

2022汎美展(第60回記念展)開催／作品募集要項

会場 国立新美術館 展示室 A (1階) 東京都港区六本木7-22-2
会期 2022年 3月9日(水)～3月21日(月) 休館日=3月15日(火)
開場時間 午前10時～午後6時(最終日は午後3時まで) ※但しいずれも最終入場は終了時間の30分前まで

〈イベント〉

作品の前で語り合う会 8日(火) 午後2時～5時 / 展示作業終了後に非公開で開催
講演会・パネルディスカッション 12日(土) 午後2時～4時 / 「表現の自由とアンデパンダン」 千葉成夫氏ほか / 国立新美術館 講堂 (3階)
講評会 19日(土) 午後2時～4時15分 / 堀浩哉氏による講評(出品作のうち希望者対象) / 国立新美術館 汎美展会場

「2022汎美展(第60回記念展)」を上記概要で開催致します。出品は裏面の「出品規定」「注意事項」をご確認の上、所定用紙にてお申し込み下さい。一般の方は汎美会員による推薦が必要です。初めての方は、下記事務局に「出品希望」の旨ご連絡下さい。

申込期限 2022年2月1日(火) までに 出品申込書を下記に、郵送またはEメール添付にて送付すること

申込先 [郵送] 〒376-0001 群馬県桐生市菱町4-2194-3 三井雅彦方 汎美術協会受付係
[E-mail] mitsui321@hb.tp1.jp

出品料 作品の大きさ・点数に関わらず 一人 16,000 円 (一般出品者) ※但し搬入日に30歳未満の者は半額とする
2022年2月21日(月) までに 下記いずれかの口座に振り込むこと
[ゆうちょ銀行 〇一八 (ゼロイチハチ) (普通) 口座番号 9599839 汎美術協会]
[みずほ銀行 多摩センター支店 (普通) 口座番号 1268836 汎美術協会]

作品搬入 2022年3月6日(日) 午前10時～午後1時 国立新美術館 地下1階作品整理室A

美術館バックヤードに入る際、後日送付する入館者証を持参のこと(展示・搬出時と同様)。

美術館は宅配等での直接送付を受け付けていない。本会が推奨する下記搬入業者を利用するか、ご自身で搬入のこと。

〈搬入業者 A*〉 フランドル画材 / Tel.090-8502-3880 / Fax.04-2942-5771 / 〒359-0045 埼玉県所沢市美原町1-2921-4

〈搬入業者 B*〉 キューアートワークス / Tel.045-951-9000 / Fax.045-954-1801 / 〒241-0806 横浜市旭区下川井町236-1

※A・遠隔地の方= 各自で梱包してフランドル画材に宅配業者などを利用して送付すれば、搬入出を 6,000円で代行。搬出後は着払いで返送してもらえる。事前にフランドルに連絡のこと。

・都内及び埼玉南部の方= フランドル画材店が前日ごろに一括収集し搬入出を代行。10,000円。

こちらへの依頼は大野会員(03-5370-6235)に 2月10日までに連絡のこと。

※B・神奈川、町田方面の方= 汎美展出品者と名乗り、キューアートワークスに直接問い合わせを。

作品展示 2022年3月8日(火) 午前10時～午後3時

感染防止の観点から係と業者が代行する(作者は立ち会えないので第三者が展示可能なよう「申込書兼作品裏貼り付け票」に展示図を明記)。但しインスタレーション等の現場作業を要する作品は作者自身が行う。

作品搬出 2022年3月21日(月) 午後3時～午後5時

国立新美術館 地下1階作品整理室Aにて出品者証と引き換えに渡します。時間内に搬出されなかった作品は指定業者にて有料保管となり、費用は出品者のご負担となるのでご注意下さい。

汎美術協会 事務局
〒168-0074 東京都杉並区上高井戸 2-4-10 大野善孝方
[Tel] 03-5370-6235 / 070-5087-4787 [公式サイト] hanbi.jp/contact/

お問い合わせ
及び連絡先

出品規定

- ▶表現技法は自由。但し未発表のアート作品で、第三者の著作権・肖像権、その他一切の権利を侵害しないものに限る。
- ▶サイズの**上限**は、間隔含む作品合計 平面= 幅**5.5m**×高さ**4.8m**×厚**0.6m** 以内。立体= 床面**3.5m**×**3.5m**×高さ**4.8m** 以内。
- ▶サイズの**下限**は、**写真・版画 = A3を2点** 以上 または **A2を1点(59.4×42cm)** 以上。
その他平面 = **90×60cm2点** 以上 または **80×130cm1点** 以上とする。(サイズに背景・額装は含めない)
- ▶パフォーマンス・インスタレーション・立体作品等は、出品申込書に概要等を詳しく記入し、企図する展示方法が可能か確認すること。
- ▶映像機器が必要な場合、機器と配線は出品者自身が用意する。インターネット回線も同様で、必要な場合は出品者自身で整備のこと。
- ▶素材は他の作品及び館内に影響を及ぼさないものを使用し、事前にカビや虫を殺す処置(くん蒸)を施すなど十分に留意のこと。
- ▶その他、禁止・注意事項や展示方法等の詳細は、必ず下記「注意事項」を参照のこと。

注意事項

搬入・展示にあたっての注意事項

- ▶指定された新型コロナウイルス感染症対策を遵守すること。(別紙「新型コロナウイルス感染防止対策 注意事項」参照)
- ▶手持ち搬入の場合も西ゲートより入館者証(出品申込後、案内状と一緒に2月中旬送付)にて入場。美術館正面ゲートは使用出来ない。
- ▶美術館環境ならびに他作品に影響を与える匂い・昆虫・カビ等の原因となる土・植物・動物等の持ち込みは不可。
(影響を及ぼす危険が事前に判断された場合、または事態が生じた場合は、該当作品の変更ないし撤収となる場合がある。)
- ▶展示壁面に直接、釘・ガンタッカー・両面テープ等の傷や汚れの原因となるものは使用不可。額裏面に突出させる金具等の使用不可。
(壁面が傷つけられた場合は弁償となる)。展示方法は下記を参照のこと。
- ▶展示に使用するフック・ワイヤー等の美術館備品を紛失した場合は弁償となる。
- ▶作品保護面にガラスの入った額は使用出来ない。
- ▶作品販売ならびに物販につながる広告表示は出来ない。
- ▶作品搬入・保管・展示・搬出に際しての不慮の事故については、当会ならびに美術館では一切責任を負えない。

壁面作品の展示方法および注意事項

国立新美術館は、壁面ピクチャーレール(高さ4.9mと2.3mの上下2段有り)から垂らす可動フック付のワイヤーで作品を吊って展示(200号以下の作品は下段レール使用)。作品裏に釘・ヒートン等が突出すると壁を傷つけるので、それを避けるために以下の方法を参照のこと。紐が必要な場合と不要の場合がある。(搬入時に担当者に相談し取り付けても可)

1. 作品裏面四周に木枠や裏打ち枠や仮縁などのしっかりした支持体がある場合

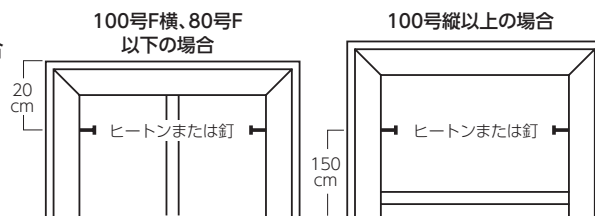
100号縦以上200号F以下の作品は額の底面から上150cmの位置に、
100号横・80号縦以下の作品は額の上面から20cmの位置に、
枠内側に厚みから出ないようにヒートン又は釘を固定。紐は付けない。

2. 水彩縁などは両端をしっかりと固定した掛け紐を付ける場合

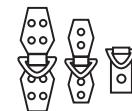
紐はたるみ無くし吊った場合に額の上に出ないこと。前傾しないよう紐の固定位置を上方にし、作品の厚みから突出し
展示壁面に接する金具や針金は使わない。絵画額用の折畳式になっているファームヒートンは使用可能。
シリーズ又はインスタレーションとして小サイズを多数展示する場合は、美術館備品の展示パネル(180×90cm)に架釘や
画鋏などを用いて展示することが出来る。使用を希望する場合は、出品申込書の該当欄にパネルの必要枚数を記入する。

3. 半立体作品など、厚みがあって前傾が心配される作品の場合

作品上面の厚み中ほどにヒートンを取り付けるか下に支えに美術館備品の台座を設置する。



ファームヒートン



パフォーマンス・その他電源使用作品等の注意事項

パフォーマンスは日時、電源使用作品は電力量(Wh)を予め美術館へ申請するため、出品申込書の該当欄に企画内容とともに明記。なお会期中の電源は、開館/閉館時に必ずON/OFFする必要があるため、自動化するか第三者に依頼出来る方法を考慮すること。

展示位置についての注意事項

- ▶展示位置抽選会を2月6日(日)19:00~リモートで実施(申込後にメールで案内)。抽選会に出席出来ない方の抽選は係が代行する。
- ▶展示位置の決定は搬入受付時の抽選に基づくが、状況により展示係が一定原則にて調整を行う。全体の壁面が不足になった場合は比較的小型の作品で点数の多い方から二段掛けをする。